

事業所名 共生型福祉サービス事業所 タップチップス

支援プログラム (参考様式)

作成日

2024年

11月

14日

法人(事業所)理念		「自分らしく」生きていくために、様々な体験を通して必要な知識と経験を学習します。また、インクルーシブ教育の理念のもと、他者との関わりを大切にします。日々の何気ない関わりの中にこそ「社会」が存在し、肯定と否定が繰り返されます。日々、体感し、喜怒哀楽することで、大人へと成長していく手助けをしていきます。							
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 障がいの状況に関わらず、様々な子供の個性を受け入れ、一緒に生活をして、個別のアプローチや集団行動を行う事で、自分のできる事を知ったり、生活を行う上でのルールなどを覚え、個々の成長を促し将来の自立へとつなげていきます。 短期入所等を通じて、子供たちに必要な生活訓練を行い、保護者のレスパイトと共に家族の負担を減らしていきます。 							
営業時間		8時	30分	17時	30分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 日中や短期入所を通じて、睡眠、食事、排泄など生活面におけるスキルの習得や生活リズムを整え生活に必要なルールを伝えながら成長を促していく。また、特性に合った個別指導などを行いADLを強化し自立を促します。 みんなで食事をする空間を大切に、アットホームな環境で過ごしながらかの食事のルールやマナーを覚え、食を通じてコミュニケーションを図り、楽しみながら食を営む力を育成していきます。 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 長期休暇や休日、平日に専門職などによる療育を行う。療育の内容は「微細運動」や「粗大運動」をプログラムに組み込み、小さな成功から徐々に自信に繋げていき、心理面でも安定して過ごせ、日常生活で困る事がないようにサポートを行います。 「微細運動」季節に合わせて四季を感じる工作や職員で考えた工作を行い、手や指を使った細やかな動きを行い日常生活に必要な動作の練習を行い発達を促します。 「粗大運動」近隣の公園や地域の公園へ外向き体全体を使って歩いたり、走ったりして体感などを鍛えていく。また、季節ごとにハイキングや運動会、公共施設のプールへ出向き、全身のバランス感覚を養い日常生活に必要な動作の訓練を行います。 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 1人1人の認知能力の特性を理解して自分に入ってくる情報を適切に処理出来るように支援を行います。個別や集団生活の中で情報が把握しやすいように時間や1日のタイムスケジュール、ルールや決まり事をイラストや写真を活用し、五感に伝わる工夫を行い、実際に自分で行動につなげられるように支援を行っていく。 行事や療育を通じて、様々な体験をして、ルールや集団行動を学び、個々の成長につなげる支援を行います。 							
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 子供の気持ちを尊重し、相手に対しての気持ちの伝え方や周囲とのコミュニケーションの取り方を観察し、状況に合わせて助言や指導を行い、本人の特性に合った環境を構築します。発語が苦手な子供に対しては、ジェスチャーや絵カードを使って、本人の気持ちを汲み取っていきます。また、生活上で興味や関心を持ったものについて、自ら積極的に発語出来るよう促していき、必要に応じて丁寧に言葉の意味などをレクチャーしていきます。 							
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 地域交流や社会見学を行い、社会生活で必要となるマナーやスキルを身につけます。集団での活動や友達との関わりを通して実践的に学び、相手の気持ちも考えることができ、自分も大切にできる行動と一緒に考え生きた上で大切な様々な問題対応能力や必要なコミュニケーションなどをそばでサポートをし、ソーシャルスキルトレーニングを行います。 様々な療育や行事を行うことで、自分で考える力を身につけ、自立して生活していく力を育てていきます。 							
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 障害を持った子供の保護者は大変疲弊されています。当事業所は短期入所事業も行っており、少しでもゆっくり出来る時間が提供できればと思い、日中活動から短期入所へと繋げて、生活訓練などを行い自分で出来る事を少しずつ増やしていき、保護者のレスパイトと共に家族の負担を減らしていきたいと思えます。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 保育所等訪問支援事業等を活用して、必要な支援や環境整備が出来るように準備をしています。 子供が安心して保育所や小学校で暮らす事が出来、スムーズに学年の意向が出来るようにサポートを行っていきます。 		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 保護者の意向を汲み取り、相談支援員と情報共有を行い状況に応じて他事業所や学校等の連携を図っています。また、地域支援、連携の試みとして近隣のゴミ拾いや直轄地区障がい者基幹相談支援センターによる運動の交流会などに参加しています。 自立支援協議会の医療・児童部会に参加するとともに、自立支援協議会の研修等にも積極的に参加をして、必要な情報の共有を行っています。 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 保育士試験に力を入れており、現場等を経験して、必要年数達した職員は保育士試験を受験する仕組みを作り、現在5名、合格する事ができています。 必要に応じて外部研修にも参加し、福祉に対する理解や知識を深め支援等に役立てています。また、会議では虐待研修や子供たちの情報共有を行っており、職員の質の向上に努めています。 		
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 季節に合わせた行事や運動会、BBQ、クリスマス会など子供たちが参加しやすく楽しめる行事を計画しています。年に2回消防訓練を行い、災害時における避難対応などを子供たちと共に共有し、訓練を行っています。また、クレープの移動販売や近隣のごみ拾い、基幹センターが主催する交流会を通じて地域交流を行っています。 年間行事：4月(ハイキング、避難訓練)5月(運動会、BBQ)6月(誕生日会、クレープ移動販売)7月(プール、花火大会)8月(そうめん流し、水遊び)9月(工場見学)10月(ハロウィーン、避難訓練)11月(バスハイク)12月(クリスマス会)1月(初詣、餅つき、凧あげ)2月(豆まき)3月(卒業式、ポッチャ交流会) 							